

甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園周辺ルート



⑧小平沢古墳

4世紀前半に造られた前方後方墳。県内で一番古い古墳。青銅鏡や勾玉、土師器などが発見された。米倉山の中腹にあり、見学には山を登る元気が必要。



⑨藤塚古墳

直径約15mの円墳。墳丘はよく残つており、頂上には社が建っている。春は桜がきれい。



⑩天神山古墳

4世紀前半に造られた全長約132m、高さ約12.8mを誇る。県内で2番目に大きい前方後円墳で、甲府市の指定史跡である。木や竹が茂つていて、見学は難しい。【所】甲教



⑪上の平遺跡

弥生時代後期～古墳時代前期に造られた120基以上の方形周溝墓から周溝墓が発見された。【展】【所】考古博



⑫かんかん塚(茶塚)古墳出土の馬具
Photo by T.Ogawa



⑬丸山塚古墳(左)
⑭かんかん塚(茶塚)古墳(右)

5世紀後半に造られた小さな円墳。県の指定文化財である。最古の馬具や鐵製の甲冑などが発掘された。【展】【所】考古博

4世紀に造られた全長16.9m、高さ15mを誇る県内最大にして東日本でもトップクラスの前方後円墳。その大きさに加え、青銅鏡などの豪華な副葬品が発掘される。また、埴輪や木柱・笠形木製品などは県の指定文化財である。整備・保存されているので、その大きさを体感するためにぜひ登つてほしい。【展】【所】考古博・東博



⑯丸山塚古墳(上)
⑰鎌子塚古墳(下)

直径72m、高さ11mを誇る県内最大の円墳。青銅鏡をはじめ、碧玉で作られた腕輪(石钏)などが見つかり、鎌子塚古墳とセツトで国の史跡に指定されている。春は花見に最適。【展】考古博(複製品)【所】考古博・東大博



⑮考古博物館構内古墳
6世紀前半に造られた横穴式石室をもつ円墳。仏教とのかかわりなどが発掘された。考古博の隣に石室の一部が復元されている。【展】【所】考古博



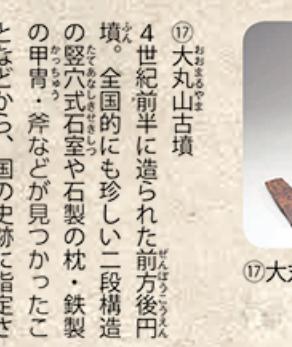
⑯考古博物館構内古墳



⑯稻荷塚古墳
6世紀後半に造られた横穴式石室をもつ円墳。仏教とのかかわりのある銅鏡や銀象嵌で飾られた鉄の刀などの発掘品は、県内では珍しく、県の指定文化財である。【展】【所】考古博



⑯稻荷塚古墳



⑯大丸山古墳
4世紀前半に造られた前方後円墳。全国的にも珍しい二段構造の竪穴式石室や石製の枕・鉄製の甲冑・斧などが見つかったことなどから、国の史跡に指定されている。山の上にあるが、竹やぶで見学は難しい。【展】【所】考古博・東博



⑯大丸山古墳の出土品(複製品)
Photo by T.Ogawa



⑯鍋弦塚



14世紀前半に造られた中世の塚。火葬した骨を入れた壺(咸骨器)が出土した。



⑯東山南遺跡出土の須恵器

隣接するかんかん塚古墳をまねて造ったかのような中世の信仰に関係する塚。【所】考古博



⑯岩清水遺跡



⑯鍋弦塚